

いしのまきし 農業委員会だより

第21号

令和7年7月1日発行

田植えの後の水鏡に映りこむ風景を「早苗田」といいます。夏の季語のこの言葉は、あの芭蕉も詠むほどの日本の美しい風景の一場面です。





農地利用状況調査の告知

推進委員 保原 政 美

2011年にスタートした農地利用状況調査も14年目となりました。遊休農地の解消、生産性の向上など、農地が適正に利用されているかもあわせて調査しています。

今、どの地区でも農業者の高齢化と従事者減少で、農地の遊休化・荒廃化が進んでいることが問題視されています。

私が担当する渡波地区は、ここ数年で多くの離農者がありました。さらには鹿の食害により畑地の放棄も増大しているのが現状です。

湊地区もあわせての調査にたずさわり一番気になるのが、違反転用の存在です。今後は地権者の皆様にさらなる農地法のご理解を広めていき、改善していかなければなりません。それこそが農地の保全につながると思っています。

農地パトロールをするにあたって

推進委員 西 條 健 一

農地パトロール実施時期になりました。年々ソーラーパネル設置や荒廃農地などで筆数が減ってきています。優良農地の減少もありますが、農地を守る耕作者の減少も問題となっていると思います。今後の地域の未来を考えると、農地を守ることも大事ですが、さらなる有効活用が出来ないか家族で話し合われてもよい機会ではないかと思います。推進委員からのお願いとしては、農地を保有している方は草刈りなどの適切な保全活動をしっかり行って頂きたいと思います。



パトロール箇所を地図で確認



パトロールの状況

みんなで作る地域の未来図「地域計画」

これまで、地域での話し合いにより、人・農地プランを作成・実行してきましたが、今後、高齢化や人口減少の本格化により農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念される中、農地が利用されやすくなるよう、農地の集約化等に向けた取り組みを加速することが喫緊の課題です。

そのため、これまで地域の皆さんの努力で守り続けてきた農地を、次の世代に着実に引き継いでいくため、「地域の農地を誰が利用し、農地をどうまとめていくか」「農地を含め、地域農業をどのように維持・発展させていくか」幅広い意見を取り入れながら地域の関係者が一体となって話し合い、地域計画を策定しました。

計画は一度策定して終わりではなく、協議を重ね、必要な取組を行うことができるよう、磨き上げ変更していくこととなっています。

今後、地域計画内の農地は、原則、計画に定められた担い手が農地中間管理機構を通じて貸借し、耕作していくこととなりました。農地中間管理事業については下記のお知らせをご覧ください。

農地の貸し借りは

農地中間管理事業 で!!

～まずは、お気軽に『石巻地域駐在員』にご連絡ください～

農地を貸したい! 借りたい!



【連絡先】

(公社)みやぎ農業振興公社 石巻地域駐在員直通

携帯: 090-5130-6036

(受付時間: 平日9:00~17:00)

又は (公社)みやぎ農業振興公社 農地集積班

電話: 080-9252-6364 (みやぎ農業振興公社直通)

URL <https://www.miyagi-agri.com>



公社HPはこちらから

※上記連絡先に繋がらない場合は、下記にお電話ください。石巻地域駐在員へ取り次ぎをお願いしています。

宮城県東部地方振興事務所 農業振興部 調整指導班

電話: 0225-95-7115



和^{わた}漕^{なべ} 渡^{ゆう} 邊^や 祐也 さん



令和3年4月、農事組合法人ライズの立ち上げとともに本格的に就農を決意し、理事に就任。現在は20haの水稲と7haの大豆を営農し、全ての作業をこなしているそうです。ライズ代表理事の米谷さんは50aのハウスで葉物野菜も営農しており、「渡邊さんには農事組合法人ライズとともに米谷農園の後継者にもなってほしい」と話す米谷さんの言葉のひとつひとつに、渡邊さんとの信頼関係がはっきりと感じとれました。就農から5年目になり今後の展望を伺うと、「とにかく今は自分が地域農業の受け皿になれることだけが、今考えられる全てです。まだまだ勉強です。」と語る渡邊さん。その実直でひたむきな姿には、力強く地域農業を担う決意と覚悟を感じました。

(担当：後藤嘉伸農業委員)



おらほの活きいき農業女子!

前^た谷^{ばた}地^か 田^な 畑^な 香^な 菜^な さん
水稲(ササニシキ) 2.6ha



学生の頃から実家の農業を手伝うようになり8年前から本格的に農業を目指そうと米農家として頑張っている田畑さんは、農業に対するひたむきな気持ちが伝わってくるその思いを語ってくれました。「農業は栽培技術を含めて学びの毎日でもあり、思うように育ってくれないという苦労もありますが、それでも毎年違っているからこそその農業の面白さがある」と話してくれました。地域の農業経験者の方々から教えてもらいながら、現在はJAに出荷しているそうです。

地域には女性農業者があまりいないこともあり、コンバインやトラクターを一生懸命に運転する姿に地域の方々も応援してくれている様子が浮かんできます。今後は、専門の農業経営者として認定農業者を目指しているそうです。その思いに私も応援したいという気持ちと、石巻の女性農業委員も目指しながら、ぜひ石巻の農業を盛り上げてほしいと思いました。



(担当：高橋由佳農業委員)



大きく育ってね♪



乗りごこち最高！

女性農業委員の活動 親子ふれあい 田植え体験



六月一日に親子ふれあい田植え体験会が桃生地区で開催されました。あいにく小雨まじりの天気でしたが約三〇人の親子が参加しました。今年で十一回目となる体験会に毎年参加している親子もあり、慣れた様子で植える子や、泥に足を取られ悪戦苦闘する子などにぎやかに行われました。

田植え後には、石巻産ササニシキを使ったおにぎり作りや、食育をテーマにした紙芝居の読み聞かせもあり、親子で楽しみながら「食と農」について学べたと思います。

「秋の稲刈りが待ち遠しいね。」と笑顔の子供達でした。

(担当：今野真理農業委員)

農業者年金加入者の声

鹿又 志摩 亮 さん

結婚を期に会社員から義理の父母のもとで農業後継者となりました。農業者年金へ加入するきっかけは、義理の父母からの勧めでした。

志摩さんは、米・転作の農作物の栽培に従事していて「後継者として、耕作面積の拡大を目標に頑張りたいと思います。」と語ります。

週二日ほど矢本地区で子供達を対象に柔道教室で指導もしている志摩さん。お聞きしていて、とても頼もしい青年でした。

(担当：近藤茂農業委員)



農業者年金の加入資格は3つだけ！

①年間60日以上農業従事 ②65歳未満 ③国民年金第1号被保険者

詳しくは最寄りのJAまたは農業委員会にご相談ください。

石巻市農業委員会総会等日程表

年月	受付期間		専門委員会		総会
	開始日	締切日	農家相談	農地調査	
令和7年8月	1日(金)	7日(木)	19日(火)	20日(水)	28日(木)
9月	1日(月)	5日(金)	16日(火)	17日(水)	29日(月)
10月	1日(水)	7日(火)	16日(木)	20日(月)	28日(火)
11月	4日(火)	7日(金)	18日(火)	18日(火)	26日(水)
12月	1日(月)	5日(金)	15日(月)	16日(火)	24日(水)
令和8年1月	6日(火)	9日(金)	19日(月)	20日(火)	28日(水)
2月	2日(月)	6日(金)	13日(金)	16日(月)	25日(水)
3月	2日(月)	6日(金)	13日(金)	16日(月)	26日(木)



農地あれこれ Q&A



Q もう、子供に田んぼを任せて引退したい。どうすればいいの？

A 現在も農業にたずさわっている後継者ならば、耕作の心配はないでしょう。経営を移譲する上では、①農協の組合員資格(共済含む) ②経営所得安定対策の申請者 ③確定申告者の3点が同一になる必要があります。家族間で十分に話し合い、気持ちよく次の世代に交代できるようにしましょう。

Q 父が亡くなり、農地を相続しました。農業の経験はありませんが、先祖代々の農地を守りたいので、農業をしてみたいと思います。

A 耕作に不安がある場合は農業委員会にご連絡ください。お近くの農業委員・推進委員等を紹介します。アドバイス等はもちろん、多方面からサポートしていきます。また、農地を相続した方は適正に管理する義務が生じていますのでお気軽にご相談ください。



編集委員会
委員長 後藤 嘉伸
副委員長 今野 真理
委員 齋藤 忠直
齋藤 忠直
近藤 生一
高橋 善宏
高橋 由佳
遠藤 章一
武山 勝
高橋 千代恵

委員 齋藤 忠直

編集後記

本誌二十一号発行にあたり編集協力頂きました皆様に感謝申し上げます。

早くも農業委員が改選になり早一年が経過しようとしています。

これから委員一丸となって皆様のお役に立てるよう情報発信の広報紙を作ってまいりますので今後とも農業委員会へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

今年も猛暑が予想されますので水分補給や休憩をこまめにとり、熱中症や事故に十分気をつけましょう。